



広幸組中にある写真を谷しい方に
おあげします

難所も三分間で通過
十二月八日国道二八五号秋田峠トンネル（延長三六一・五呔、幅員九・五呔）の開通式が現地で行われた。同時にこれに接続した三太郎沢橋（延長九〇呔、幅員一・四呔も開通し、郡境最大の難所も一挙に解消されることになった。
今までは標高二四八呔の頂上をめざして、七一のカーブをめぐりながらあえぎあえぎ登り、冬季間はまた凍てつく道の危険をはらみスピードダウンを余儀無くされた難所も、わずか三分で通過できるようになった。

峠の歴史

秋田峠と命名したのは昨五十五年で、国道二八五号線の大改修にともない、新時代にふさわしい、しかも歴史的な意義のある地名ということになり、加賀谷町長と上小阿仁小林村長が名付け親となった。

それまで割山峠と呼ばれていたが、その昔笹森峠という名称があった。明治三二年四月から旧富津内村と小阿仁村間の道路改修工事を行っているが、郡境の山を切り開いての改修であったところから「割山峠」という名称が一般化した。

秋田峠という言葉の裏には、壮大な歴史が秘められている。今から二五二年前の享保一四年の郷村御調覧書（県立秋田図書館蔵）によると、秋田藩には六つの郡があったことを記している。秋田郡の北東部には郡がおかれ、秋田郡の延長として放置されたという。同じ郡内でも相互連絡となると、距離が遠く、地形が峻険で至難をきわめたため、明治一一年郡、区、町村の編成を機会に、南秋田郡と北秋田郡が誕生している。

梅津政景日記から

「梅津政長日記」元和三年四月一九日の記録によると、慶長二〇年（一六一五）五十目付近の米を阿仁金山御蔵衆へ送ったと記されており、近世初期から阿仁鉱山への食糧資材補給路として五城目街道が重要な役割を果たしていたことがわかる。しかしそのコースは、浅見内村から東に進み赤倉山と高杉山の山間部を通る道は難所であり、往昔遭難が絶えなかったため、のちに南にコースをとり、黒土と湯ノ又の中間から右折して中津又に至り、笹森峠を越えて沖田面に出るようになったと述べている。

文政三年（一八二〇）冬、菅江真澄もこの道を通つており「雪のやまごえ」の著書の中に出てくる。

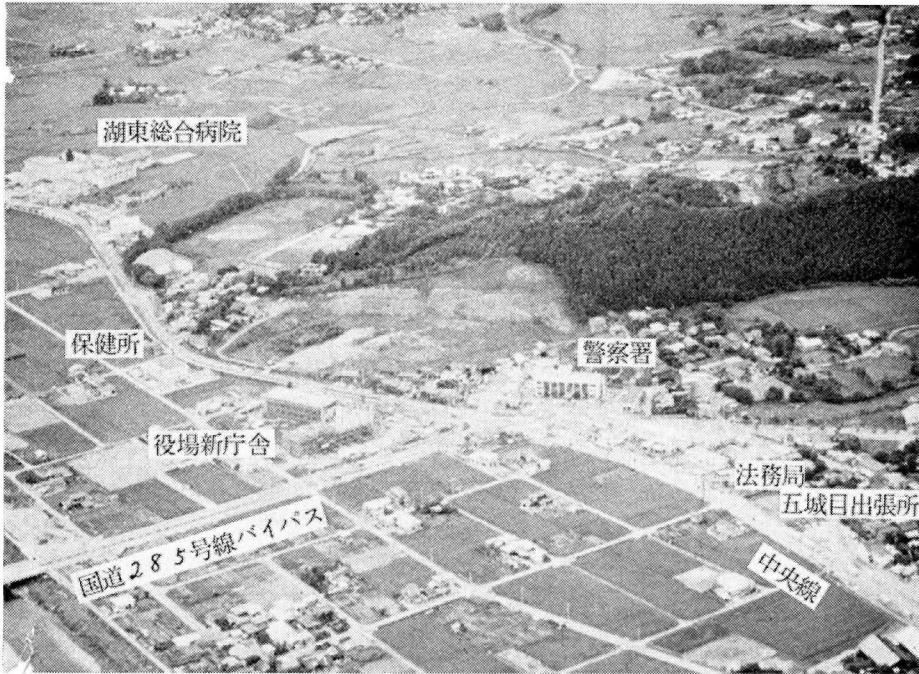
重要性変らぬ五城目街道

元はと言えば同じ秋田郡内であつたとする歴史のロマンがよどみなく過ぎゆく時の流れに風化されることのないよう名付けたのが「秋田峠」となつたのである。

五本の橋と二本のトンネルが五八年度完成めどに工事を進めているが、完成後は高速東北縦貫自動車道と県都秋田市を結ぶ最短路線として、その重要性ははかり知れないものになるだろう。

完成を祝う・一九八一年

カメラでとらえたこの一年



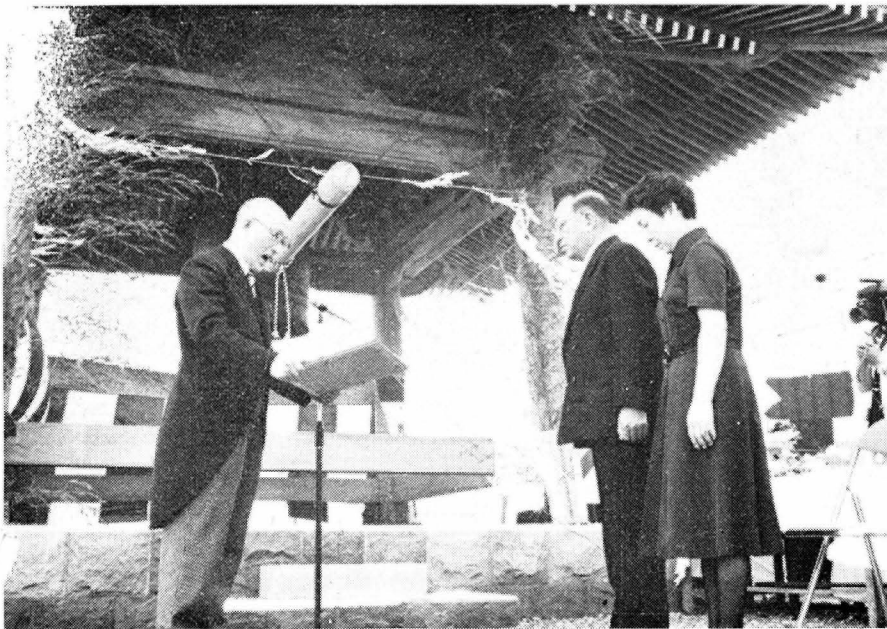
大きな建物ができたり、道路が造られることに、町の様子が変わります。
現在役場庁舎の建設工事が行われています。

れている磯ノ目地区では、五城目保健所が三月に移転新築し、四月には五城目警察署が三階建ての近代的なビルに生れかわりました。

都市計画街路中央線も十二月に五城目保健所前から馬城橋まで開通しました。
また、大川保育園が新築され、四月十日に真新しい園舎で入園式が行われました。雀館運動公園の弓道場開きが行われたのも、広ヶ野の町営住宅三十一戸が新里町町内会としてスタートしたのも四月でした。
七月には森山山頂に鐘楼が完成

し、正午を合図に鐘をついて竣工を祝いました。
道路では都市計画街路中央線の局部開通のほか、十月には広城基幹林道五秋線が完成し、十二月には国道二八五号線の秋田峠トンネルが開通しました。
今年行われた落成式や開通式の様子などを、写真でまとめてみました。

今年一年で大きく変わった役場新庁舎建設地付近（8月7日、自衛隊ヘリコプターから写す）



鐘楼竣工式では梵（ほん）鐘を寄贈された
松橋福蔵・美智子ご夫妻に感謝状が贈られた（7月18日）



広ヶ野の町営住宅が31戸になり
新町内会新里町の誕生となった（4月1日）



五城目保健所が磯ノ目に移転新築し、新庁舎の二階で
知事出席のもとに落成式を行った（3月27日）



広域基幹林道五秋線の竣工式は
雨の中、秋田市黒川で行われた（10月29日）



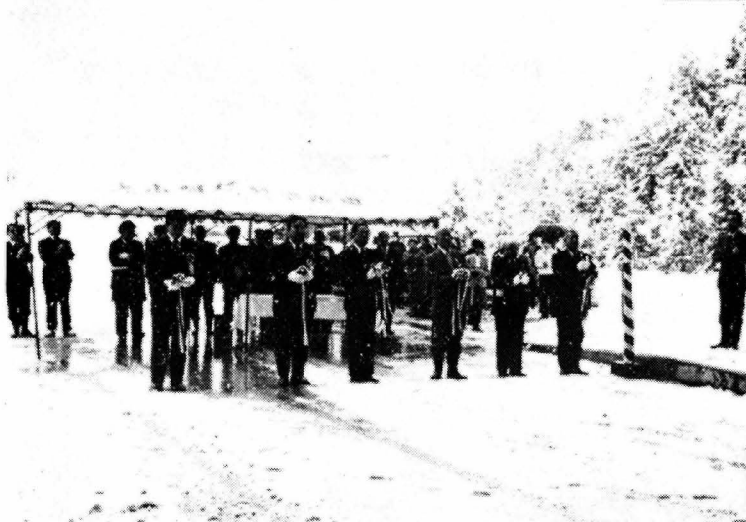
移転新築した大川保育園で初めての入園式が行われた（4月10日）



雀籠運動公園の一角に
弓道場が完成し道場開きが行われた（4月29日）



都市計画街路中央線は保健所前から馬城橋まで開通（12月9日）



郡境を抜ける秋田峠トンネルが開通し
国道285号線最大の難所が解消された（12月8日）



五城目警察署が三階建ての近代的なビルに生れかわった（4月25日）

中央線馬城橋まで開通

幅十八メートルの幹線街路

都市計画街路中央線の局部開通式は十二月九日に行われ、一般車も通行できるようになった。

開通式は午前十時から現地で行われた。県都市計画課長や加賀谷町長等によるテープカットがあった後、祝賀会場の町民センターまで車を運んでパレードを行い、開通を祝った。

中央線は、最も重要な路線として、昭和三十一年に都市計画を決

定している。現在の五城目保健所前を起点にして、馬城橋を通り馬川公民館までの延長二二九〇呎。両側に歩道を設けた幅十八呎の幹線街路で、役場庁舎前まで国道二八五号線と交差する。

今回開通したのは五城目保健所前から馬城橋までの八四六呎で、昭和四十六年度に県の事業主体で工事に着手している。

工事区域は市街地の中心部で、

寺、バスターミナルのほか、商店が多数あり、一般住宅を含めると五十九戸を移転した。また、オイルショックにより、工事抑制にあらうなど難事業であった。

中央線沿線の磯ノ目地区は、昭和四十九年度から土地画整理が行われており、現在八十六番完成している。また、同地区の真中を通る国道二八五号線のバイパスは、飯田川町の国道七号線に向って工事が進められている。

中央線の開通により、磯ノ目地区の発展が期待される。



パトカーを先頭にパレードをして開通を祝う

民生委員の

畑沢さん表彰される

このほど畑沢一視さん（湯ノ又・五七）が民生委員功労者として全国社会福祉協議会会長から表彰された。



畑沢 一視

畑沢さんは昭和二十六年から現在まで民生委員として活躍しており、当町においては副総務、地区長の要職にある。

また、内川公民館長や児童館運営委員などの仕事にもたずさわっている。

今回表彰されたのは全国で千四百五十五人で五人であった。

五城目・内川・大川

57年度保育園児を募集

五城目、内川、大川保育園の園児を次のとおり募集します。

入園申請書の交付期間

12月21日から12月25日まで

入園申請書は役場住民課にありますが、内川と大川の場合はそれぞれの保育園でも交付します。交付期間は十二月二十一日から二十五日までです。

保育園は家庭の状況などによって、児童の保育が困難と認められる場合に、保護者にかわって保育する児童福祉施設です。ですから集団生活になれさせるため、あるいは近所に友だちがいないうことだけでは、入園の対象になりませんので注意してください。

募集内容は次のとおりです。

▽募集人員

五城目保育園 一五〇人
内川 保育園 四五人
大川 保育園 九〇人

▽対象

五城目保育園

五城目一中男子が優勝

―全県中学校招待バスケット―

第十回全県中学校招待バスケットボール大会は、十一月二十三日、五城目体育館で行われ、五城目一中の男子チームが余裕のある試合はこびで優勝した。

大会には男女あわせて十六チームが参加した。五城目一中の男子チームは、危なげないスコアで勝ち進み、決勝でも琴丘中、バゴ

昭和52年4月2日
54年4月1日生まれ
内川保育園

昭和51年4月2日
54年4月1日生まれ
大川保育園

昭和51年4月2日
54年4月1日生まれ
大川保育園

▽募集区域

五城目保育園
五城目、馬川、面湯、富田、上山内、下山内、小倉地区
内川保育園
内川全地区
大川保育園
大川全地区

▽入園申請の受付および場所
(受付時間午前10時～午後3時)

五城目保育園 1月11日、12日
役場第一会議室
内川保育園 1月13日
内川保育園

大川保育園 1月14日
大川出張所

※以上の日程で都合の悪い方
1月18日 役場第一会議室

▽身体検査 2月上旬の予定

・不明な点は役場 電話2100
住民課福祉係へ問合せください。

五城目幼稚園の園児募集

五城目幼稚園では、昭和五十七年度の園児を募集しています。主な募集内容は次のとおりですが、詳しいことは五城目幼稚園、または町の教育委員会におたずねください。

▽応募資格

・昭和五十八年四月に小学校一年に入学する者
・昭和五十七年四月二日から五十七年四月一日に生まれた者
・五城目町に住所(居)を有する者

▽募集人員 約百六十人

▽入園書類

五城目幼稚園、あるいは教育委員会に配布

▽入園願書提出先

五城目幼稚園、教育委員会

▽願書受付期間

昭和五十七年一月二十日～一月三十日

上小阿仁中 47-44 五城目一中
大曲中 47-43 井川中

▽同決勝

大曲中 50-37 上小阿仁中

▽男子準決勝

五城目一中 66-28 男鹿東中
琴丘中 33-27 秋田南中

▽同決勝

五城目一中 36-24 琴丘中
▽女子準決勝



広報文芸は休みます

統計調査にご協力を

年末年始にかけて、工業統計調査、工業実態基本調査、エネルギー消費構造統計調査が行われます。対象になった事業所の方はご協力をお願いします。これらの調査は、法律の定めによる国の指定統計で、記載された内容は統計以外の目的には使用されません。また、他に漏れることのないように、特に配慮することになっていきますので、ありのまま正確に記入してください。

調査は十二月三十一日現在で行いますが、調査をお願いする事業所には、年末に調査員が調査票をお届けします。そして、一月五日ころ回収にうかがいますので、それまでに記入を終えているようにしてください。

【工業統計調査
工業実態基本調査】

通商産業省では昭和五十六年十二月三十一日現在で、昭和五十六年工業統計調査を実施します。この調査は、製造業を含む事業所を対象として製造品の出荷額、原材料使用額、有形固定資産額などを調査し、工業の実態を明らかにすることを目的としています。

この統計調査の結果は、例えば都市開発や下水道整備計画の立案に利用されたり、また、みなさんが各種製品の生産、販売計画を立てる場合の参考にもなるなど、生活と深い関係があります。

また、本年は工業実態基本調査が行われます。この調査は企業の実際の姿について正しい資料を集めることを目的としたものであり、中小企業の経営の安定を図り、国の経済を健全に発展させるためにぜひとも必要なものです。

【エネルギー消費構造統計調査】

昭和五十五年から始まったエネルギー消費構造統計調査が、今年も十二月三十一日現在で行われます。みなさんもご承知のとおり、イラン政変を契機として石油有限性が認識され、わが国のエネルギー政策も石油など燃料資源の安定供給の確保対策から、一方では、エネルギーの将来に対する総合的な政策が求められることになり、省エネルギーの推進等の施策が進められています。

これらの施策を円滑に推進し、今後のエネルギー需給に著しい不

役場窓口業務は
年末も行います

役場は十二月二十八日午後から一月三日まで年末年始の休みとなりますが、窓口業務（戸籍等）については、次のように三十一日まで行います。

- ・ 12月28日・29日・30日 平常どおり
- ・ 12月31日 正午まで
- ・ 1月1日・2日・3日（休み）

なお、休みの日でも職員が役場に常時おりますので、急用の場合は日直や宿直（番212100）に相談してください。

均衡が生じないようにするためには、エネルギー消費の実態と動向を的確に把握しておく必要があります。そのため、通商産業省では「商鑑工業エネルギー消費統計調査」を実施しています。この調査は、年一回の「消費構造統計調査」と毎月行「消費動向統計調査」の二本立てになっています。

この商鑑工業エネルギー消費構造統計調査は毎年十二月末日現在の調査で、エネルギー消費の産業別、規模別、地域別構成をとらえることを目的としています。



路上駐車は除雪のじやま

町では、冬期間の交通を確保するため除雪態勢に入っています。除雪は主要な幹線道路から随時行い、できるだけ臨機応変に各地区の町道に入ります。しかし、狭い路地などには除雪車が入れないので、町内のみなさんが除雪を行うようにお願いします。

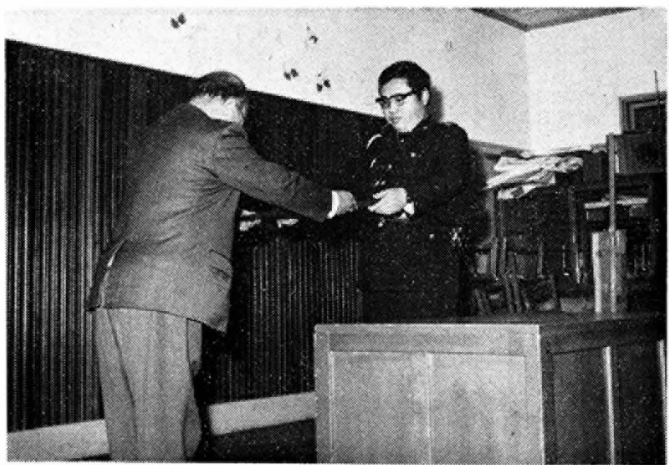
除雪能力を高めるために、次のことを守ってください。

- ①路上駐車をしない
 - ②路上に物を置かない
 - ③道路に排雪しない
- ※除雪についての問い合わせは役場建設課（番2100）へお願いします。

カメラリポート

森山荘に中学生の善意

五一中学生徒会がバザーの収益金を贈る



おまわりさんに園長から感謝状が贈られました

おまわりさんに感謝状

幼稚園でもちつき会を開く

十二月十日に行われた五城目幼稚園のもちつき会で、五城目警察署の若いおまわりさんたちで作っている互伸会に、園長から感謝状が贈られました。これは、四年前から毎年、同幼稚園でもちつき会を開いて、園児たちを喜ばせてくれたことに感謝して贈ったものです。

しかし、今年のもちつき会は、今までこの会を計画してくれた若いおまわりさんたちが、転勤などで署にいらなくなったので、町の教育委員会が後を引き継ぐかたちで開かれました。

感謝状を受けた若いおまわりさんは「署の中に若い人が少なくなり、子供たちが楽しみにしているもちつき会を開くことができなかった申し訳ありません」と残念そうに話していました。

五城目第一中学校の生徒会が、老人ホーム森山荘にお金を贈り、ホームのお年寄りたちに喜ばれました。このお金は、十一月二十一日と二十二日に行われた同校の文化祭で、バザーを開いて得た収益金一万六千六百六十四円。

十一月二十六日、生徒会長の今井理則君と副会長の小玉佳子さんが森山荘を訪れ「これは私たちが文化祭のバザーで得たお金です。で、お役に立ててください」とホームのお年寄りたちが見守る中で、三浦悦郎さんにお金を手渡ししました。



お年寄りを代表して善意を受け取るホームの三浦さん

1月
 ごみ収集日

町内名	57年 1月					
	1回	2回	3回	4回	5回	6回
広ケ野	5	9	14	21	26	
新里	5	9	14	21	26	
希望ヶ丘	5	9	14	21	26	
田町	5	9	14	21	26	
上田町	5	9	14	21	26	
今町	5	9	14	21	26	
御蔵町	5	9	14	21	26	
小池町	5	9	14	21	26	
川原町	5	9	14	21	26	
新町	6	10	15	22	27	
一番町	6	10	15	22	27	
占川町	6	10	15	22	27	
紀久栄町	6	10	15	22	27	
中川原	6	10	15	22	27	
館町	6	10	15	22	27	
岩城町	6	10	15	22	27	
築地町	7	12	17	23	28	
畑町	7	12	17	23	28	
新畑町	7	12	17	23	28	
矢場町	7	12	17	23	28	
仲町	8	13	20	25	30	
長町	8	13	20	25	30	
米沢町	8	13	20	25	30	
雀館	8	13	20	25	30	
昭辰町	8	13	20	25	30	
大川一	8	13	20	25	30	
二区	8	13	20	25	30	
三区	8	13	20	25	30	
四区	8	13	20	25	30	
馬場目	4	14	23			
富津内	4	14	23			
内川	4	14	23			
大川外	9	19	29			
本村	9	19	29			
馬場	9	19	29			

休み 1日・2日・3日・11日・16日・18日・24日・31日

< 直接搬入料 >

2ト未満	1回につき	6000円
2ト～4ト未満	1回につき	9000円
4ト以上	1回につき	13500円

※ 収集日が多少変更になることもあるので広報のごみ収集日表を必ず見るようにしてください。

焼却場にゴミを直接搬入する場合は、直接搬入券が必要です。この搬入券は、焼却場入口にある館岡商店（電話2-3367）で売っておりますのでご利用ください。

県税事務所から

公給領収証を必ず

受けとりましょう

料理や飲食などの消費税は、みなさんが、料理店、旅館などで飲食・宿泊などをし、その料金を支

払ったときに、お店の経営者は料金や税金を受けとったしるしとして「公給領収証」を渡さなければならぬことになっています。この公給領収証は、みなさんが支払った税金が正しく県に納められる証拠になるものですから、支払いのさいには必ず公給領収証を受けとってください。

十月二十七日
 五万円 煙町 大原由紀子
 （亡父国雄様の香典返しとして）
 三十一日
 五万円 門前 石井 浩
 （亡父鉄三郎様の香典返しとして）
 三十一日
 三万円 雀館 一関 正男
 （亡母タカ様の香典返しとして）
 十一月四日
 十万円 古川町 尾形 勇蔵
 （亡父金之助様の香典返しとして）
 十八日
 四万円 高崎 匿名
 （年金の一部を寄付したもの）
 十九日
 四万五千八百十円 齊藤範夫民謡会
 （十一月十五日民謡ショーを開催）

千円 館越 齊藤 孝三
 （町より支給された身障者手当を）
 八日
 五万円 川原町 湊 司
 （亡父春亀様の香典返しとして）

小児マヒの生ワクチン投与を次のとおり行いますので、対象になっているお子さんは必ず受けてください。
 問診票はお子さんの健康状態をみきわめる重要な資料です。必ず保護者が記入して、当日、母子手帳といっしょに持参してください。

小児マヒの生ワクチン投与

【おしらせ】

- ① 昭和五十六年二月一日から五十六年八月三十一日までの出生者
 - ② 昭和五十五年八月一日から五十六年一月三十一日までの出生者
- ・一回目投与
 ・未投与者
 ①②以前に出生した者

（温水プール）
 冬休み中は開館を延長
 31日から4日まで休館
 屋内温水プールは、十二月三十

し尿の汲み取りは
 お早目に

年末のし尿汲み取りは、次の日までとなっています。汲み取りの必要がある家庭は、業者へ早目に申し込んでください。
 なお、仕事開始は1月7日になっていきます。

一日から一月四日まで年末年始のため休館します。
 また、児童、生徒が冬休みである十二月二十七日から一月二十日まで、開館時間を次のように延長します。
 火、木、金、土曜日
 午後一時～午後六時
 水曜日 午後一時～午後八時
 日曜日 午前十時～午後三時
 月曜日 午前十時～午後四時三十分
 休館



冬至 12月22日

また、お子さんの体温を測定して健康状態を確認することも忘れないでください。

日程

十二月二十二日（火）
 五城目・面湯地区
 担当 笹尾医師
 十二月二十三日（水）
 馬場目・内川地区
 富津内・大川地区
 担当 川崎医師

時間 午後一時～二時（受付）
 場所 広域体育館

対象

秋田県民謡踊り協会

副会長 畠山 先生

民謡踊り講習会

民謡踊り講習会が開かれます。健康と美容のために踊ってみませんか。定員（五十人）になり次第締め切りますので、受講を希望する方はお早目に。

時間 十二月三十日
 午前十時～午後三時

場所 雀館児童館
 雀館児童館

申込先 電話 2-33606

善意銀行
 預託者

十月二十七日
 五万円 煙町 大原由紀子
 （亡父国雄様の香典返しとして）
 三十一日
 五万円 門前 石井 浩
 （亡父鉄三郎様の香典返しとして）
 三十一日
 三万円 雀館 一関 正男
 （亡母タカ様の香典返しとして）
 十一月四日
 十万円 古川町 尾形 勇蔵
 （亡父金之助様の香典返しとして）
 十八日
 四万円 高崎 匿名
 （年金の一部を寄付したもの）
 十九日
 四万五千八百十円 齊藤範夫民謡会
 （十一月十五日民謡ショーを開催）

した時の収益金の一部を寄付したものの）
 十二月二日
 一万五千元 五城連会長 伊藤 花美
 （十一月二十七日リサイクル運動会における収益金の一部を寄付したもの）
 三日
 二千元 上山内 朝野 博典
 （町より支給された身障者手当を寄付したもの）
 四日
 千円 仲町 小川 元生
 （町より支給された身障者手当を）
 五日
 三千元 昭辰町 匿名
 （町より支給された身障者手当を寄付したもの）
 七日
 千円 館越 齊藤 孝三
 （町より支給された身障者手当を）
 八日
 五万円 川原町 湊 司
 （亡父春亀様の香典返しとして）